

みんなのsmile便り ☺

9・10月の休診・診療時間変更

9月15日(金) 休診
 23日(土) 休診
 10月16日(月) ~17時まで
 24日(火) 休診
 25日(水) 休診

スパイロメトリー検査

8月より、スパイロメトリー検査を行っております。

スパイロメーターという測定装置を使用して、肺活量などの呼吸機能や肺年齢を調べることができます。

この検査では、ぜんそくやCOPD(肺気腫・慢性気管支炎)などの病気がわかります。

予約がなくても当日受けられますので、お気軽にお問い合わせください。

ぜんそく

ぜんそくとは、気道の炎症によって気道が狭くなる病気です。気道の炎症と気道が狭い状態は、症状がない時でも慢性的に続いていることが多いのですが、症状が良くなると自分の判断で治療を中断してしまう方もいます。

たとえ症状がなくても継続して治療をする必要があります。

COPD (肺気腫・慢性気管支炎)

COPDの主な症状は長引く咳・痰や息切れです。よくある症状なので、風邪や歳のせいなどと勘違いし、そのままにされてしまうこともあります。主な原因はタバコの煙で、COPDの方の9割で喫煙歴があると報告されています。

治療ではまず禁煙が大切です。当院では禁煙外来も行っておりますので、いつでもご相談ください。

総合診療とは、一つの病気をみて薬を出すのではなく、その人をみてバランス良く診療していくものです。

当院は、幅広い視点で診察するのが特徴です。

また、土日祝日・夜間も診療していますので、いつでも受診できます。

まだまだ暑い日が続きますが、体調にお気をつけて

何かご心配なことがありましたらお気軽にご受診ください。

今後とも、よろしくお願いたします。

菊池 大和

肺炎とは

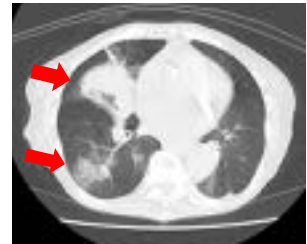
一般的に肺炎とは、細菌やウイルスなどの病原体が肺に入って感染し、肺に炎症が起こる病気をいいます。多くの病原体は、空気と一緒に身体の中に入ってきます。通常、人間の身体に備わっている様々な防御機能が病原体をやっつけるのですが、病気にかかっていて体力が落ちているときや、高齢のため体力や免疫力が弱っているときなどに肺炎を起こしやすくなります。平成27年の統計によれば、肺炎は、がん、心臓病に続いて日本人の死亡原因の第3位となっている病気です(厚生労働省より)。

肺炎の症状

風邪の症状に加えて、以下のような症状がみられます。

- ・ 高熱が続く・咳・痰が続く・胸が痛い、息苦しい
- ・ 食欲不振・倦怠感・悪寒がする・頭痛・筋肉痛、関節痛 など

このような症状が1週間以上続いた場合、肺炎が疑われますのでクリニックを受診しましょう。当院ではすぐにCT検査や血液検査を行い、肺炎を見つけ、治療を行います。



当院で撮影したレントゲン (左) ・CT (右)

◎ひとことコラム…脂質異常症

脂質異常症とは、血液中の脂質のうちLDLコレステロールまたは中性脂肪のいずれか一つ、または両方が上昇した状態、またはHDLコレステロールが低下した状態をいいます。食事の摂取エネルギー量を抑え、血中脂質の上昇を抑えてくれる食品をバランス良くとることが大切です。

- ①脂肪 (油料理) 糖質をとり過ぎない
- ②野菜を十分にとる
- ③良質のタンパク質 (魚介類・大豆製品など) を欠かさない

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
09:00 - 13:00	●	●	●	●	●	●	●
15:00 - 18:00	●	●	●	●	●	●	●
19:00 - 21:00	●	●	●	●	●	●	●

※ 休診日：毎月第1、3日曜日
 ※ 休診日：木曜、金曜、土曜

